

林檎

岩手Mac友の会

Vol. 2, No.3 1990.6.7

Iwate Macintosh Funclub



ご挨拶

「ただいま御紹介にあずかりました徳富です、会報の編集長をさせていただいております」

過日土田公民館にて開かれました総会で、そう、ご挨拶をするように野村会長からおおせつかっておりましたが、大変残念なことによんどころない私用のため欠席いたしました。

今日の「林檎」があるのは、第一号を企画編集して下さった荒木さんのお陰だと、本当に感謝しております。荒木さんが東京に転動された都合で第二号の途中から、自分が編集長の大役をおおせつかりました。それからは、編集委員の皆さんに支えて頂きながら、今日まで面白おかしく、そして大変楽しく「林檎」造りをしてくることができました。

少し固いお話しになりますが、当時も、そして現在も変わらない編集の基本方針は、「第一人称で語ろう」ということです。それは会員の方々に、御自身の経験したこと、思ったことを「私が、僕が、」という立場で書いていただくということです。また、あまり専門的、技術的な内容に走らず、どちらかといえば、会員相互の親睦に重きを置いた内容にしていきたいということも、もうひとつの基本方針です。

さて、私自身が「林檎」に託していることは、Macでこんなこともできます、という具体例のひとつになるということです。Macは非常に沢山の特徴と機能を備えた素晴らしいパソコンですが、中でもDTP (Desk Top Publishing) は、Macならではの便利さ、使いよさが発揮できる格好の舞台ではないかと思えます。

今この会報を手にしておられるあなた、あなたも「林檎」編集に加わってみませんか。DTPの楽しさがMacの楽しさを倍増させる事受け合いです。尚参加ご希望の方は、野村さんから自分の所までご連絡くださいますようお願いいたします。



総会でまた会長をおおせつかってしまった野村です。

会長といっても、この会の場合は、雑用係と言ったほうがピッタリなので適任かも知れません。

さて、今年度の活動方針は...と考えてみても私のことですから、昨年同様。つまり、発足時点のものと変わりありません。すなわち、Macintoshを愛する人達のための良き情報交換の場を維持するというものです。

そして会員に望むことは、アクティブであれということです。この会の活動は、会員相互の善意によってのみ成り立っている訳ですから、善意の

只乗りはマナー違反といえます。

自由で優しく、しかも明るい雰囲気を作るため次のキーワードを提唱します。

暗いと不平を言うよりも進んで明かりを点けましょう。

叩けよさらば開かれん、求めよさらば与えられん。

2つとも宗教関連の言葉ですが、「進んで明かりを点ける」、「叩けよ」そして「求めよ」という姿勢が欲しいものだと思います。

Inside

Meet the Mac	2
IMF's PDS	4
山の花	6
English Column	7
林檎ギャラリー	8
茶房	9
私のMac Life	10
盛岡BBS Now	12
気ままなコラム	14
林檎ギャラリー	16
東京通信	17
余計なお世話	18
掲示板	19
会員名簿	19
編集後記	19



Macとの出会い

「そしてこの自我！ わたしはこれを、引き裂き、つねにくり返し噛み直されるそれ自身の実質によって、またそれが成長するためのこの唯一の養分によって養ってやる！」

(ヴァレリー=テスト氏)

まぎれもない初心者なのである。Macについて語る知識も経験もないし、出会いのドラマも持っていない。(実はまだ、なかぐろの出し方すら知らないのだ。もしかするとそのようなものはMacのキーボードにはないのかもしれない) だから、支離滅裂に「出会い」についてすこしだけ書かせていただこうと思う。

白い原稿用紙というのは、それがあふだけで十分優越感を味わせてくれる。たとえ書かなくても人は原稿用紙を前にするだけで詩人になってしまうのだと思う。1本の万年筆が精神のねじれをいかに矯正してくれることか。

いま、はくの原稿用紙はMacにとっ

私が関口です



てかわった。万年筆を転がしながらあれこれと空想していたころのように、いま、Macの画面をほんやりながめながらただ時間を過ごすことが多くなった。98を愛用していた頃には(今も使っているけれど)いとおしさを感じたことがない。それは機械であって手足の一つではなかった。非常に心やましく感じはするが、頭をなで、抱きかかえて歩きたくなる誘惑がMacにはある。それは非常に肉

体的なものだと感じる。

はじめてネットワークにアクセスした98は、真っ黒な画面に、あかりをともしかのようにしてホストのメッセージが浮き上がった。ネットの世界はつねに夜であり、暗い大海のなかに漕ぎ出すような感覚を味わった。

いつも孤独感があった。Macは基本的に違った。通常表示されている画面がそのまま通信画面になることに



はじめのころずいぶん違和感を感じたものだ。自分の家の居間がいつのまにか、街路になり公園になり他人の家のなかになったりしたような感覚である。時代の気分から言えば1世紀近いへだたりがこの二つの間にはあると感じる。

いま手にしているMacが、機械ではなくひとつの総合表現のためのメディアなのだという思いは購入当初からずっとしていた。とりわけ、唐十郎の芝居のように音楽的である。どれもが容易にパソコンにドラマを持ち込めるお膳立てがととのっているのがMacだと思い込んでいる。パソコンとしての生い立ちにまつわるドラマだけのせいではあるまい。いうことは聞いてくれないけれども、自分にとってはどうしたって分離独立させておきたいもう一つの自我がここにあるとおもっている。

20代の前半の多分に自意識だけが先鋭化していたころ、自分というものを語ることに、生きるすべを

たくしていたような生活があった。そのころの信条は、なにものも所有しないことであった。(少なくともそのはずだった) もともとありもしない生きることを求めて自分の解体と、再構築を心がけることが日々の日課になっていたのであった。いつの間にやらその生きる意味とはゲームのために(!)パソコンを購入することへと変化する。だがまだ、自分では、一貫した論理がそこにあると思っているのだから!

(おお)
まだ、自分のMacは語らない。自立しない。だが、いずれ、対立する精神を持つようになるだろう。それは、知能ではない。現象なのだ。その夢を、ほんやりとしながら机の前で空想している。

パソコンとして見た場合、98に比べてどちらがやさしくわかりやすいか、というのは個人によって違うと思う。はくの場合は、(大学で数学を学びながら自分の思考法の限界に気づいて大きなショックをうけた記憶がある) Macというパソコンはもの

すごく難解なように感じる時がしばしばだ。因数分解だってそれなりの知識が必要だ。Macの場合、知識はちょっとやさそとでは手に入りにくいかなたにあると感じる。(初心者なのだからあたりまえのことだ)

もちろん、便利さを求めたとか、操作を学びやすそうだからMacに手をだしたわけではない。単純に誘惑されてしまったことだけは明らかなことだ。その、誘惑されたという思いは日増しに強まるいっぽうなので、もう、仕事に使おうとか、なにかに活用しようとかいう気持ちは薄れるばかりだ。マウスを転がすだけでなくにもせずとも、主張するもう一つの自我は精神の交流によって日々、成長する。そして、内的生活を再びもたらしてくれると確信している。



IMF's PDS

109103 Typing Trainer 2.0



見やすく、わかりやすく、使いやすくなりました。
そしてちょっとだけですが、遊び心も入りました。

By Wataru Tokutomi

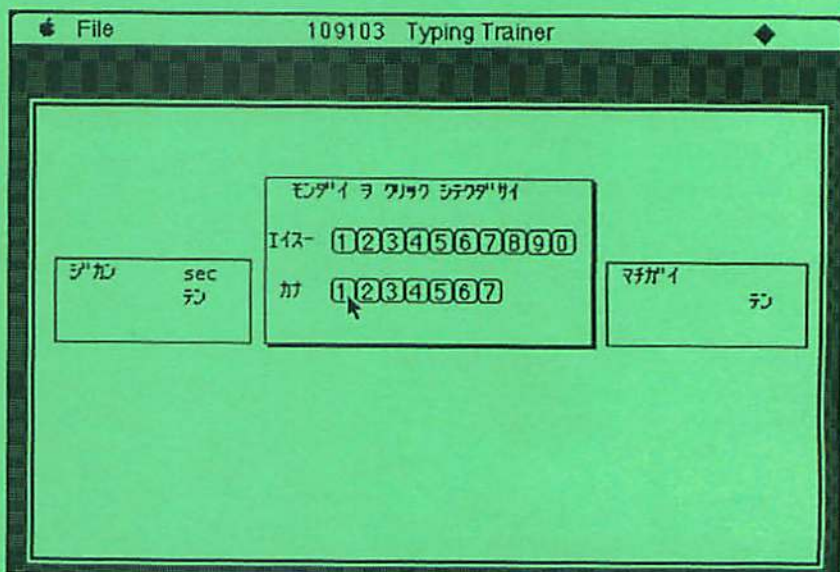
数年前、書店に並んでいるワープロの独習書はローマ字入力を勧めているものがほとんどでした。カナ入力は覚えるキーが多く、使えるようになるまで時間がかかるのと、機種によってカナキーの配列が違うというのがその理由のようでした。しかしワープロの普及が進んだせいも、だんだんカナ入力の良さを直視する本が増えて参り、最近では、カナ入力だけを解説し、ローマ字入力についてはまったく触れていない独習書も発刊され始めたようです。家の近くの本屋でもカナタイプ専門の独習書を3種類ほど見ることが出来ました。

私達日本人がワープロを使う場合、カナ漢字変換が必要です。これは様々な意味でユーザーのハンデになるばかりでなく、コンピューター自体のハンデにもなります。大量のRAMが漢字トークを走らせるために費やされ、またアプリケーションの実行スピードも漢字トークを介することによって大分落ちてしまいます。

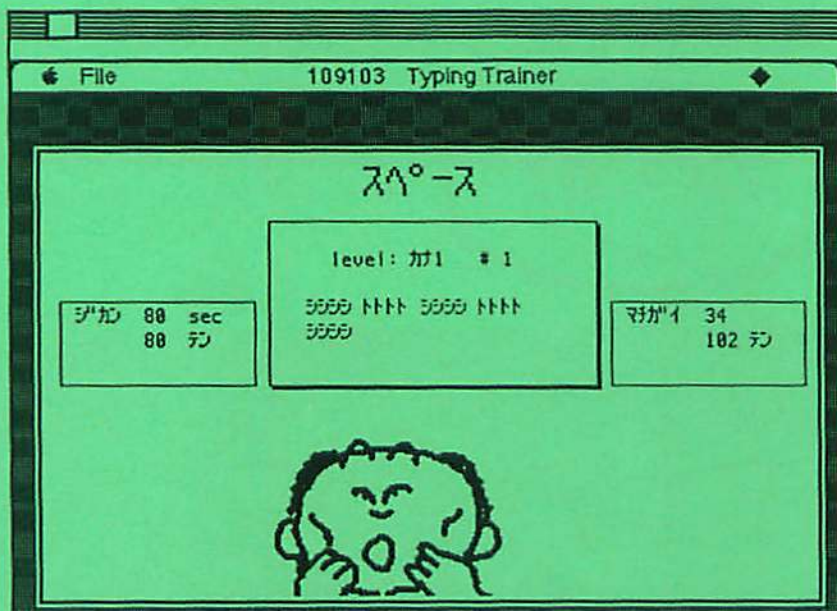
ローマ字入力ではこのカナ漢字変換の前段階として、頭の中でカナ・ローマ字変換までしなくてはならないわけで、これはさらなるハンデだと思います。入力のスピードを考えてみても、ほとんどの場合、1文字入力するのに2度キーを叩く必要がありますから、基



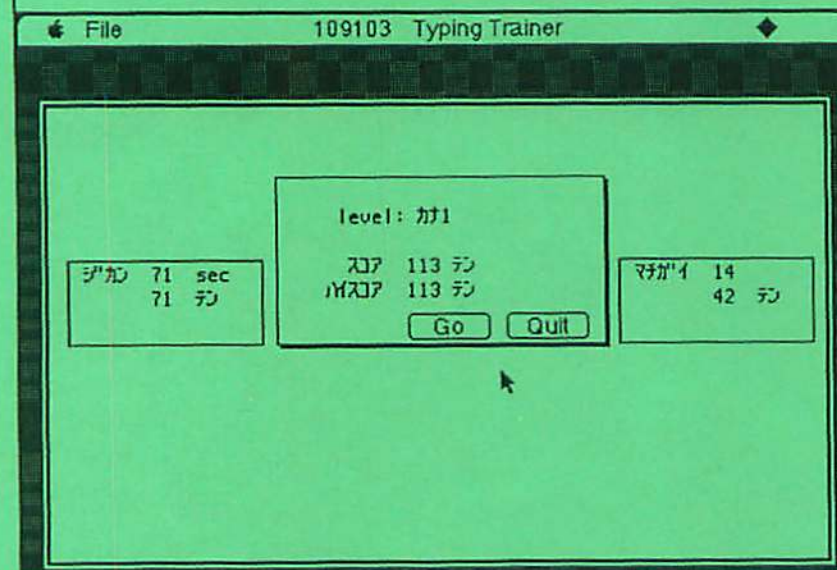
タイピングの基本は何といてもホームポジションのマスターから！左の小指から順に、チ・ト・シ・ハ、右手は人さし指から順に、マ・ノ・リ・レのキーの上に指を乗せます。ホームポジションから左上と右下に位置するキーをそれぞれの指が担当します。結果的に左右の人さし指と小指が大活躍しなくてはなりません。



まず好きな問題のボタンをクリックすることから始めます。



タイピングの練習はスペースキーを押す事によってスタートします。問題の下に同じ文字を打っていくわけですが、間違えるとアニメが出てきます。スペースでないところで間違えてスペースを押すと欄外にスペースと表示します。それ以外の場合はカーソルのあるところに今押したキーの文字が表示されます。正しいキーが押されるまで次に進みません。アニメは「ファイト！」と言っているのですが、被害妄想気味の人には「アホ！」と言われているように感じられるかもしれません。アニメを出さないようにするには、TypingTrainerのプルダウンメニューからanimation offを選べばブザーが「ブ！」と鳴るだけになります。



問題が出終わると、最後に所要時間と、ミスタイプの数が表示されます。スコアは所要時間1秒につき1点、それにミスタイプ1回につき3点が加算され、その結果を表示します。また、Quitするまでのスコアのうちの一番少ないスコアをハイスコアとして表示します。

練習を続けるときはGoを、やめるときはQuitのボタンをクリックします。また、FileメニューからQuitを選べば、練習の途中でやめることができます。

本的に1文字1キーで済むカナ入力より遅くなります。

以上のような理由から、Macでカナ入力を練習したかったのですが、Mac用のカナ入力練習ソフトがなかったのがこの109103TypingTrainerです。その後お試しいただいた方々からお寄せいただいたご意見を素に何度か手を加えながら現在に至っています。

最 近行ったバージョンアップでの主な改善点は次のようなものです。

- 1 タイピングの時間経過とミスタイプの数を表示するようにしました。
- 2 どんな文字でも文字幅を一定にしました。これについては山田浩さんの御厚意により、ASLFont+を採用させていただいております。
- 3 漢字トークを英数モードにしたまま、カナ入力の問題ボタンをクリックするだけで、自動的にカナ入力が出るようにしました。
- 4 多くの機能を盛り込んだ結果MacPlusやSEでは、キー入力に対する反応が鈍くなってしまいました。入力スピードが速くてそれが気になる上級者の方のために、元来日本語フォントを持たない英語Systemでもカナタイプの練習が出来るようにし、英語Systemで使う事によって反応性を改善出来るようにしました。

ま だこれからも、バージョンアップを続けていくつもりですので、ご意見、ご感想をおまちしております。

なお、TypingTrainerをお試しいただくにはICS-net あるいは Nifty-Serve FMACUSからダウンロードしていただくか、下の住所に空きフロッピーをお送りください。

025 花巻市愛宕町3-19 徳富亘



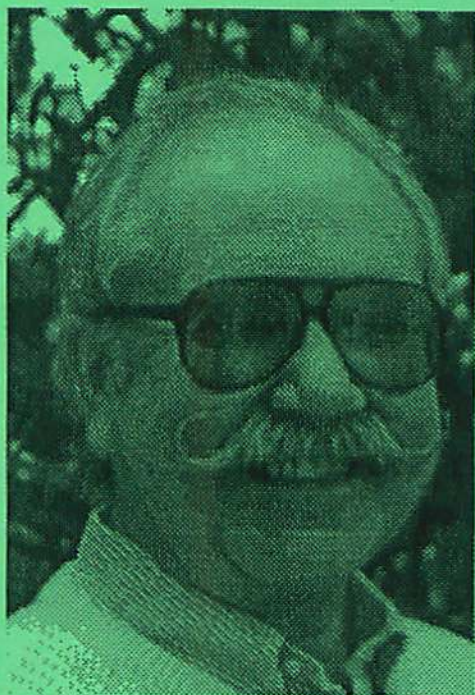
白い花に赤い萼と茎を持つこのアカモノは、その名前と同様に親しみやすい感じのする花です。七月に秋田駒ヶ岳の登山道のわきに群生しているのを見ることができ、花の長さは7-8mmの鐘形で乾いた草地や岩場に生える常緑の小低木。秋に赤い実がなることか

山の花
佐藤護人

らアカモノ→アカモノとなまってこの名前がつきました。別名のイワハゼは、岩場に生え、葉の形がハゼの葉に似ていることからついた名前。



アカモノ



ON BEING DIFFERENT

....by Dick Harry

Being different is sometimes very difficult. When we first came to Japan, we realized all of the time that we were different because almost everybody had the same color hair and eyes and everybody looked Japanese but us. This alone sets us apart from everyone else. Then we began to study the Japanese language which even small children seemed to be able to master much more easily than we could, or still can. Next, when we went anywhere, everything was so small and we felt big and awkward, especially at a restaurant or in a small shop. When we got on the train, people made

us feel even more different by not looking at us, or not sitting next to us even when the train was crowded. Some of these feelings are still with us when we walk down the street and forget that we look different, and young children stare at us or say something unkind to us because of our difference, like "Gaijin, yadaa". I have even had the experience of people leaving the onsen "ofuro" when I enter because of my difference.

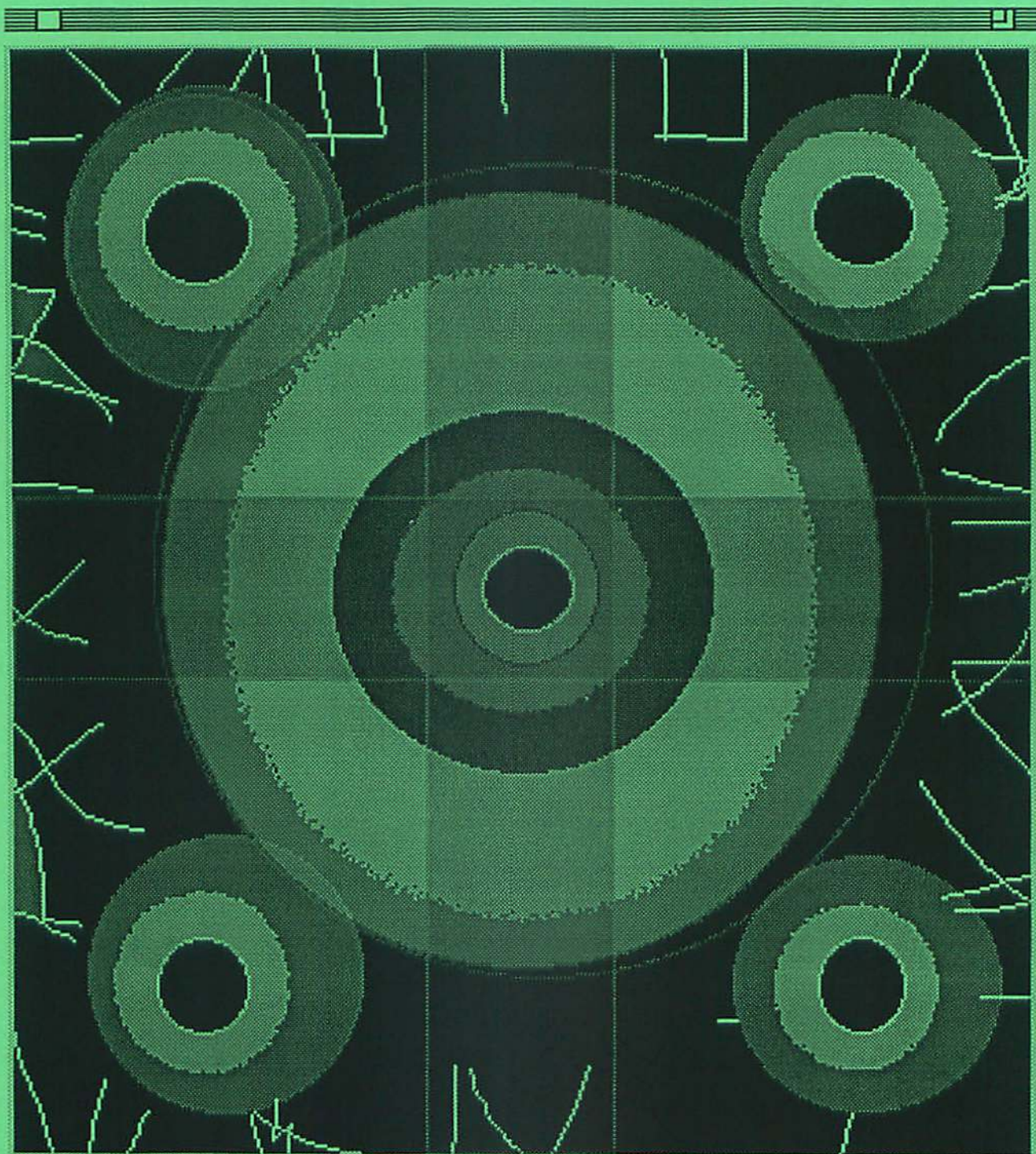
Most of us "Gaijin" try not to make our differences more obvious than they really

M

are, but it really becomes difficult when those who are the same are always pointing the differences out to us. I recognize

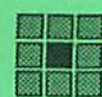
that in a country where there is so little room to live and so many people to live here that being the same, or having the sense of sameness, is necessary. But as we all mature into "world citizens" we need to be aware that each of us is a unique person with special gifts to offer each other, and sometimes being with someone who is different is like a fresh new breeze on a hot summer day. Building bridges of understanding is not done by emphasising our differences but by emphasising the ways we are all the same. At the same time we should celebrate our differences and uniqueness as persons.





1990-masao-segawa

林橋キヤラリ一





Macは友を作る

大河原清
(岩手大学教育工学センター)

この「茶房」の欄で以前、福田さんがマンウォッチングについて二回お書きになっていた記事を大変興味をもって読んだことを思い出します。実はこのマンウォッチング、非言語コミュニケーションの研究領域に位置付けることが出来ます。

私は自分の研究の一つとして、授業場面における非言語コミュニケーションを対象にしています。つまり、教師の身体動作が生徒の学習にどのような影響を及ぼしているのかを調べているのです。

教育工学にかかわる研究会で、東京工大の赤堀先生から、「身体動作の研究についての質問が出たので、大河原さんのことを紹介しておきました。」、という話がありました。

一週間もたないうち一通の文献依頼の手紙が届きました。私は返事の末尾に、「さて、これから帰ってMacのRAMの増設です。」と書いたのです。今年の二月上旬の土曜日のことでした。いつも大学のMacを使用し、友の会の会員として、いささか気後れしていたのですが、とうとう自分で購入したものが届いた時期でしたものから、心がウキウキしていました。

これ以降、研究よりもMacにかかわる手紙のやり取りをするようになりました。このようにして、Macの一行が、桃太郎伝説の地の友人を作ってくれました。その方からお便りが届きましたので、次にご紹介致します。岡山県の清水誠一先生です。



岡山にもMac友の会が欲しいなあ

清水誠一(中川小学校)

岩手のマック愛好者の皆さん、こんにちは。貴会報誌「林檎」を毎回楽し

みに読ませていただいております、岡山の1マックユーザーです。

会員皆さんは、何で岡山のユーザーがこのようなところに出てきたのか不思議に思われたことと思います。実は貴会の会員である大河原先生と、ある学会を通じて面識を持つことができ、先生を通じて貴会の情報をいろいろと知らせていただいているという次第です。

では、簡単に自己紹介をさせていただきます。

茶房

- ◇氏名 清水誠一
- ◇生年月日 1954.8.11(獅子座)
- ◇家族構成 妻、長男(6才)、長女(2才)
- ◇趣味 パソコン(現在は音楽に興味があります)、ファジィ理論の研究
- ◇システム構成 マックPlus、HD(70M)
- ◇勤務先 中川小学校

次に私の貴会に対する感想を一言。岡山にはマックのユーザーグループなどというものは全くありません。したがってユーザー間の情報交換などもなく、マックユーザーは本当に肩身の狭い日々を送っています。私もその例にもれず、わずかに友人数名と、状況をなげきつつ、マックについてひそひそ声で語り合っております。

大河原先生がマックユーザーである



ことを偶然にも知り、さらに岩手マック同好会の存在を知るに及んで、本当に岩手のユーザーの方がうらやましくてなりません。何といっても一人で知ることのできる情報量など、たかがしれています。私もマックについていろいろ知りたいことがあるのですが、なにしろユーザーが少ないため全くお手上げの状態です。その点岩手の皆さんは幸せですね。個々のマックの情報量の増加の速度については加法性が成り立つと思いますが、マックについてのユーザーがたくさんいて、それが一つの組織体を構成し活発に活動しているならば、個々の情報量の増加にも相乗効果が現われるものと思われれます。

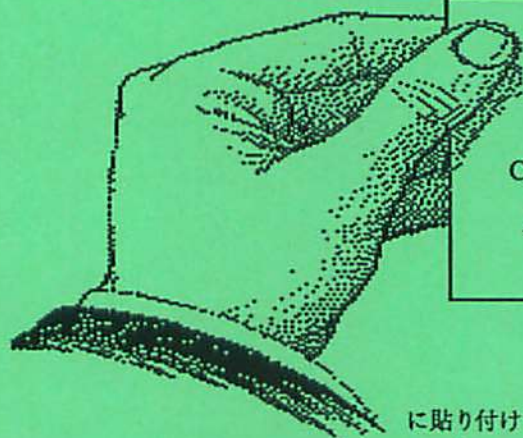
岡山のユーザーのためにも、貴会誌の内容が一層充実したものになることを期待して、Plusのキーを打つことを終了いたします。



以上のような次第です。

私にとってMacを通して友の会の皆様と知り合え、更にひょんなことから、遠方に住む清水先生と知り合えました。この上、茶房にも投稿させていただき、二重・三重の喜びだと、会員の皆様には感謝しております。今後も宜しくお願い致します。(1990.5.17)





始めに私のシステムを紹介します。

ハードは MacPlus2.5MB、外部ドライブ、
C&E社製HyperHD20HS モデム1200bps。

イメージライターワイド、 ...by兼平信一

Macを何に使っているか

仕事と個人情報の管理などに、なくてはならない道具です。最近通信を始め、ときどきNiftyに入っています。良く使うソフトはエクセル、ファイルメーカーなどです。

エクセルについて

エクセルは情報管理の他に意志決定ツールとして使っています。

Macで仕事をするとき心がけているコツのようなものは、1.最少入力最大出力、2.ソートしてみる、3.グラフで見してみる、4.データは全体の流れで見してみる、くらいなものです。

V2.2を使いはじめはまだ間もないのですが、気づいた点をいくつか述べてみます。

*動作が目に見えて遅くなりました。MacPlusユーザーの受難の時代でしょうか。

*V1.06で作ったシートは読み込むと自動的にコンバートされますが、データベースを使っているものは、データベース範囲と条件範囲を設定し直さなければならなりません。

*機能が増えて、少し操作が煩わしくなったような気がします。

*「分割ウィンドウ固定」は便利なコマンドで、これは欲しかった。

*プレゼンテーション重視の設計ということでフォントが多彩になって結構ですが、グラフをじかにワークシート

に貼り付けてプリントできないものでしょうか。

*日付の書式の標準が変わり、見づらくなりました。年月日を"/"で区切ると、9ポイントでは特に見にくくなります。また何年何月の書式にしておいた日付はV2.2にコンバートすると90年4月はApr-90となり、日本人にはわかりにくく不必要に思えるのです。いくら書式を自由に設定できると言っても、シートごとに設定しなおさなければならぬのだから不便です。

ファイルメーカー 2

について

現在は、簡単な出納帳を組んで使っています。評判通り使いやすいソフトだと思います。前はエクセルでやっていましたが、データベースソフトを使いたかったので変えてしまいました。それとエクセルでは、ソートするときいちいち分類のセル範囲を選ぶ必要がありますが、ファイルメーカーはその必要がないので楽です。グラフ機能があるのもっといいと思うのですが。

動作スピードはMacPlusで使うには遅く、忍耐を必要とします。せめてSE/30で使いたい。ちなみに、2100件ほどの昇順になっているレコードを降順にソートするのに2分余りかかりました。仕事で使うには、ストレスを増加させる原因となると思います。MACLIFEのデータベース特集記事によるとMac2で2000件のソートに36秒。仕事でファイルメーカーを使うなら、

最低でもSE/30にすべきでしょう。エクセルのマクロのような機能はありませんが、スクリプト機能があり、決まった仕事はメニューの中に組み込めます。

最初は機能がシンプルなのが不満に思うこともありましたが、必要なものは大体揃っていると思います。良く研究して作られている感じで、ベストセラーの理由がわかるような気がします。

VJEについて

HDを買ったのをきっかけにMacVJEを買いました。EGBridgeを使ってみて学習機能が弱かったので、キー操作が2.0変換に似ていて、操作キーの数が少なかった(あくまで、V1.2のときの調べ)VJEにしました。TurboJipは入力ウィンドウが消えないので好きになれません。

MacVJEのV1.2ではべた書き変換モードで入力すると、入力ウィンドウから溢れた文字列は自動的にアプリケーションに渡されました。インライン変換でなくとも、疑似的なインライン入力のような使い方が出来たので気に入っていましたが(但し、変換が確実でなくとも文字列はアプリケーションに入っていくので注意が必要で、適当なところで強制変換させる必要がありました。最初はよく間違っていて、使いづらいつ感じましたが、馴れて来るとこの緊張感が快感に変わっていました。)V2.0になってこれが出来なくなりました。

入力ウィンドウには80文字しか入らず、それを越えるとピー音が警告し、入力が出来なくなります。なおかつ入力ウィンドウ内の文字列の引き渡しにはリターンキーが必要になりました。しかしV2.0はV1.2より動作が安定してきているようで、この方がやはり良いのでしょうか。私の場合少し偏った見方をしがちのようです。

学習機能はEGBridgeよりはましのよな気はしますが、期待したほどのことはありません。基本的には、変換に手間取った単語は即辞書に登録するのが良いようです。ときどき学習機能が効かなくなることもあるので、変換効率を上げるためにも辞書はつねに整備する必要があります。

EGBridgeやTurboJipに比べて、雰囲気は私の好みようです。また本体と辞書が一つづつしかないのもシンプルで気に入っています。

HyperCardについて

スタックを作ろうと思って、いろいろ本を読みましたが、ものになっていません。検索機能を活かしてメモスタックと個人的な勉強の用語集を、リンクとビジュアルイフェクトを使って作った程度です。私の場合はHyperCardのコンセプトに馴染めないだけかも知れません。

スケジュール管理などには使っていません。最初、DateBookスタックに予定を入力していましたが、面倒になって止めました。予定は、思い付いたときに手帳に書き込んでこれをMacの横において使っています。

HyperCardをスケジュール管理をし、エクセルで計算をすると言ってもこの切り替えをするのは、MacPlusではちょっとしんどいのでMultiFinderが走れば、そんなこともできると思います。

HyperCardはおもしろいソフトだと思いますが、カードを一度に一枚しか見れないのが不便に感じます。一枚だけ見るほかにリスト表示でもデータを見たいのですが、これはHyperCardの

コンセプトに反するのでしょうか。

ゲームについて

私はゲームをほとんどやりません。すぐ飽きるのです。10分もするとQuitします。ビジネスソフトを使うほうが下手なゲームよりおもしろいときがあります。事実ファイルメーカーを使いはじめたときは試用錯誤して使いこなしていくのはゲームを楽しんでいる感覚です。それで、Macで仕事をしていると、仕事のためにMacを使っているのか、Macを使うために仕事しているのか分からなくなるときがあります。



Macについて

Macが発表される少し前、「サイエンス」誌のパソコン特集特別号で「スーパーパーソナルコンピューター」なるものを知りました。XeroxStarやSunワークステーション、PARCなどの写真や、ビットマップディスプレイ、アイコン、マウス、WYSIWYG、大容量記憶装置といったものが特徴だと言う程度しか覚えていませんが、これからのパソコンはこうなるという強く断定的な文章に、「本当かね〜」という思いでしたが、間もなくAPPLEからLisaが出ました。本当に出た、凄いや、かっこいいなどと思っているうち、Lisaはあまりの高価さゆえ消えて行きました。次に出てきたMacは日本語が使えない、ハードのスペックが国産機より劣るなど、本当に使えるのか、売れるのかと思いつつも情報を集めていました。

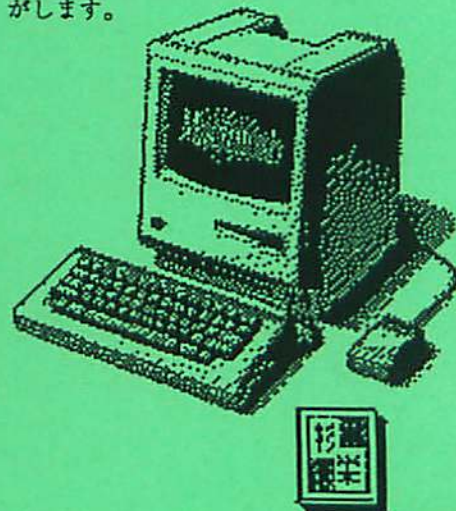
仕事で数字を扱うことになり、手作業では追い付かなくなってきました。この機会にパソコンを購入しよう、使

いやしく即戦力となるマシンはMacとエクセルの組み合わせしかない、と以前から決めていたので、岩手キャノンで1時間ほど見せてもらい買ってしまいました。このとき照井さんといっしょに行ったのですが、照井さんはこの時まだ、パソコンの必要性がなかったのですが、私は買うんだったらMacですよと薦めていました。

Macを選んだもう一つの理由にモデルチェンジしないことがありました。パソコン雑誌を見る度に新製品が発表され、半年もすると旧製品になるという国産機の悲哀を見るにつけ、国産機は間違っても買うまい、と心に誓っていたのでした。

Macが届いたその日2時間ほど操作を教わり、エクセルで仕事をはじめることが出来ました。マウスを使っているオペレーションの快適さは予想以上でした。選択の正しさに一人胸を張ったのは3年前です(周りには私のほかにパソコンに興味のある人間は誰一人としていなかった)。その頃、パソコンはいずれMacのようになると、ことあるごとに話していたような気がします。

System7.0がリリースされようとしています。Plusユーザーとしては置き去りにされそうな気もしないでもありません。しかし6.0.4でMultiFinderが走りそうなので、メモリを4メガにしてMultiFinderを走らせたいと考えています。そうすれば、本当に使える道具としてのパソコンが手に入りそうな気がします。



会員の皆さんはMacに関する情報を様々なところから得られているものと思います。中にはどこから聞いてくるんだろうと思うようなことを知っている人もいます。BBSにも、大手BBSからの転載や外国雑誌のめばしい記事を紹介いただいています。今回は、その中からいくつかを掲載します。

◎197: 90MAC003 90.02.13 14:25
MacWeek最新号等より...

最新のマックウィークではいよいよマックIIxiの記事が目につくようになってきました。記事内容は大雑把に以下通りです。

「F19(xi)は予定通り3月には発表される。CPUは68030の33Mhzに落ち着きそうだが、研究所ではまだに40Mhzの搭載も検討中と言われる。(発表を来月に控えて、それはないでしょう。ネエ。)Nu-Busは噂通り6スロット搭載。CPUにダイレクトなキャッシュカードスロットや、SCSI等へのメモリーダイレクトアクセス等、特に高速化には力を注いでおり、そのスピードは現在のCiの60%から100%増しになる模様。同時にアップルは純正の24ビットカラーボード、及び8ビットから24ビットへの拡張可能なカラーボード、そしてAm29000RISCprocessorを搭載したQuickDraw acceleratorボードを発表する模様。特にアクセラレーターボードのスピードは12~20MIPSと目されており、(凄い!!異常!!)注目に値するものである。このシステムをサポートするOSは6.0.5となる模様」だそうです。どうも、これは本格的にCAD等のエンジニアリングワークステーション市場への挑戦、となりそうですね。TrueColorへのソフト供給の問題もあり、ビデオカードは悩み所になりそうなので、暫くはオンボードの8ビットカラー機能を使用するのが最も得策と言えるかも知れません。さて、最近のPDS市場で、興味を惹かれたものといえば「FinderSound」なるもので、これはシステムドキュメントの形(スクラップブック等と一緒に)で供給され始めています。これはFinder6.1.4がSound

looked up機能を持っている事から(つまりは、それ以前のファインダーではこの機能は使えない)考案されたものですが、ファインダー機能に「音」を付加するものです。ファイルのドラッグ、ポイント、コピー、トラッシュ、ウィンドウの選択、オープン/クローズ、という様なファインダーの持つ機能にことごとくsndリソースによる音を被せる事が可能になっています。これはINIT等と違い、システムドキュメントですから、もともとシステム、ファインダーが備えた機能を格納、使用しているだけで、非常に面白いものです。sndリソースは勿論変更可能ですから、自分で好きな音を組み上げる事が可能です。(因みに私が入手したものはEmpty Trashをすると水洗トイレの流れる音がした)要するにシステムが持っているビーブサウンドの拡張版と考えれば良いわけです。こんなもの、仕事に何も関係ないのですが、OSがそれをフックする機能を持っている辺り、「まだまだアメちゃんを追い越せないなあ、日本の環境では」とうなだれる事しばしばあります。(使用を間違えると、職場が「チントンシャン」となり、混乱至極ではありますが、アプリケーションに入ってしまうと無効なので、(故にFinder Sound)息抜きには絶好です)19インチの操作環境と、Ciの速さにジャンキーになり、本格的にデータベースを構築する気になった為に、書き込みが極度に減っている中島でした。

◎75: 90MAC005 90.04.05 17:45
噂の噂

噂話です。Virtualを販売しているDove社関係者の話によりますと、Dove社は、

MacintoshPlus用の低価格アクセラレーターボードを数週間のうちに発表するそうです。これは16MHzの68030を搭載して、500ドル以下の値段になるということだそうです。

Plusが10万円以下でSE/30になるなら、いい話ですね。

と言うような噂を聞きました。噂が好きなのは福田です。

◎65: 90MAC003 90.04.14 00:19
少しの話題...

福田さんのご指摘の通り、確かに「書き込み」が少ないようですね。

話題が「枯渇」しているのかしら?まあ、そういった時期なのかも知れません。少しばかりの話題を提供します。

◎ここ数日前にCIS、MacDeveloper Forumにおいて、システム6.0.5がアップされました。早速入手して、テストしてみたのですが、マルチファインダーは更に安定度が高くなっているようです。主として、6.0.4のバグ修正版の意味合いが強いようで、ポータブルのCDEVの改良、Ciにおけるインターナショナル及びミュージックフォントのフォント幅のディスプレイにおける問題の修正、32ビットクイックローの改良。(QはROMバッチリソースの形で提供)などがそれに当たります。自分で使用しているCiで早速日本語化に挑戦しましたが、おおかたは問題なく使用できるようです。(漢字変換等は問題なし)ただ、若干問題があるのは、先に述べたフォントディスプレイの問題で、修正が仇になった感があり、まあ、その変更はリソー

ス修正でOKかな?という感じではありませんが、そんな時間がないので、確認だけに留めました。

○漢字トーク6.0.4の正式リリースがもはや秒読みに入った、と聞いています。

正式には5月中旬くらいには発表かな?と思います。いよいよ皆さん、新しく購入される際にはCxではなく、Ciを考慮された方が宜しいと思います。また、6.0.5はFx用のシステムですが、受ける感じとしては先に述べたように、漢字トークはすぐに追いついてくるのでは?と思います。当然、Fxもターゲットになるのかな?と思いますが、問題は、「RAMモジュール」かも知れません。今までのものと形状が異なる様ですので、値段が...。最近調べた結果では、80ナノのCiでも使用可能なSIMMは4MBで68,000円程度で入手可能な様です。(現在は、殆どが80ナノの様ですが、在庫の関係で)「安い」と思われる方はご相談ください。更に情報をお知らせします。

○ビデオカードの情報はどうも、最近アップルの純正ボードに話題が集中しがちですが、Raster Opsからでている、364シリーズは話題沸騰になりそうな気配です。NTSCを取り込み、24ビットカラー、動画もOKという事で、マルチメディアと合わせ、非常に興味ある製品と言えそうです。また、価格が2000ドルを切っていること(1995ドル)も人気沸騰となるのではないかと考えられます。

○Fxのロジックボードアップグレードが発表されてからというもの、サードパーティのアクセラレーターボードが、大幅な値崩れを生じています。これは勿論、予想された事ではありますが、値崩れ直前に購入した人は「泣きの一言」と言えそうで

す。

○Barkley Systemsの「After Dark」の1.1c用のアップデーターがCISにアップロードされています。これは68030CPUに対するバグフィックスが主たる目的のようです。

○ファイルメーカーが「ファイルメーカープロ」として、クラリスより発売される模様です。「ユーザー定義可能なボタンスクリプト」、や待望のマルチファイルルックアップが可能になった模様です。(勿論、日本での発売は未定ですが)

以上、若干の書き込みを行なった、中島でした。

◎ 54: 90MAC015 90.04.20 20:32 from MacWorld May

今月号は凄い!今までの大体350ページ前後でしたが、今月号はなんと524ページもあります。もちろん値段は今までと変わりませんから、お得です。さて、内容ですが、何といてもII fxの特集があります。

●前号でも紹介したかも知れませんが、ScuzzyGraphとって、SCSIに繋いでPlusやSEやPortableでも、Large screen (Color or Monochrome)が使えるようになるという代物に興味を感じます。値段が出ていませんので、手紙を出してみます。

●Plus用の030アクセラレーターといえば、2,3ヶ月前にMacproducts USAというところに手紙でfurther informationを請求してみましたが、いまだに返事が送られてきません。どうやらうさん臭かったようです。かくなる上はGeminiでいくしか無いかと思っておりましたら、遂にあのDove

ComputerのMarathon 030シリーズにfor Plusが出ました! 感涙にむせびそうな\$449です。これでこそ待った甲斐があるというものです。これもさっそくfurther informationを請求してみますが、なんといっても老舗であるだけに心配は少ないと思います。ふふふ。そして驚いたことにMarathon 030 for Mac II が、どおんと値下げの\$449 だってんですから、これまた嬉しい限りです。だってついこの間までの半分ですよ。

●Extendedタイプのキーボードで、面白いものが出ました。Switchboardというもので、キーボードの部分と、function keyの部分と、ten keyの部分バラバラにでき、それぞれの位置を入れ替えることが出来るものです。単品でも使えると便利だと思いますが、おそらく駄目だろうと思います。しかし、Mac IIからPlusにまで対応しているとのこと。専用Trackballもあるとのこと、本体は\$175です。

●TI microLaser PSの宣伝がありました。PostScriptが使える\$2425なのだそうです。ちょっと前にダイレクトメールが来ていたLZR650というのとかかなり似た形をしていますが、LZR650はHP Laser Jet Seriesのエミュレーションだと書いてあったからおそらくPostScriptには対応していないと思います。だって23500円ですからね。

まだまだいろいろ面白いものがありそうですが、取り急ぎお知らせまでの徳富でした。





「最近感じた事など、気ままに。」

前回の原稿を書き終えてから、自分の仕事が大変忙しくなった。(いや、何もそれまでが暇であったという訳では決してないのだけれど) その忙しさが一息ついたと思ったら、電子メールにて林檎編集部より原稿の依頼。「う〜む、時の経つのはやはり速い」とうめきながらの大型連休。僕は思い切って、その半分くらいを休日とし、次の仕事への充電にあてる事として、毎日ビデオを見たり、本を読んだり、そして久々にゆったりとした気分で音楽を着に、ビールを傍らに置いて、自宅にてこの原稿を書いている。

今回はこうした環境なので、仕事とマックの話は極力押えて最近経験したマックがらみの話題をいくつか書いてみたいと思う。



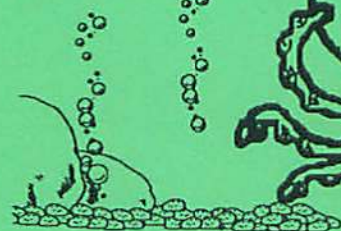
魚屋で大根を買う気分とは？

つい最近、仕事場のマック環境をがらりと変更することにした。Ciを中心として、システム構築を行った事がその中心であるが、今回は久々に、本当に久しぶりに国内のディーラーとの取り引きを行った。相手は？勿論販売最大手のキャノン販売である。焦点はあくまで「以前(ダイナマックヤリサを扱っていた頃)に比べてどの程度商品知識その他、顧客に対するサービスが向上しているかどうかについて感じた事を書いてみよう。

結論的には、「まったく駄目。話にならない。」である。ちなみにキャノン販売千葉営業所のアップル営業担当は「一名(!!!)」である。しかし、この事は嘆くにはあたらない。とにかく総元締のAJでさえ、この春に大阪に支社を出した位(この事実さえ僕にとっては驚愕すべき事実であったが)なのだから千葉のキャノン-アップルがこうでも驚いてはいけないのである。問題として語られるべきはその内容について。先ず最初に、「自分はこちらに赴任してまだ間もない」、「キャノンに入社して間もない」事を徹底的に強調し、次に県内における

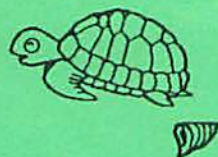
マッキントシュの販売状況について、「秋葉原が近いですからねえ〜」と言いつつ、最後に「マックについてはよく解らないのですよ。」と平然とのたまわった。絶望。町内の八百屋以下の対応である。

勿論、こうした対応は今回限り、千葉県内限り、という可能性を信じたいところであるが、それにしても、マックが日本に紹介されて結構な年月があり、(コンピューターの進歩の速さから言ったら5年というのは「結構な年月」だと思ふ)ようやく売れ始めている昨今、本当にどうなっているのだろうか？やはりどこまでいってもマックはマニアのマシンなのかな？



日本語環境もままあまになった。嬉しい。スピードも驚異的に速くなった。嬉しい。海外のソフト、ハードも輸入販売するショップが増えた。半分くらい嬉しい。

ユーザーにとって、ハード構成が先行し頭でっかちになった感の強いビジネスマックが今、日本で必要としているのは信頼できるサービス体制と、本当の意味で業務環境を整える事が可能なシステムエンジニアの登場だと確信するが、この一番大切な部分の空洞化が悲しすぎるので、総ての嬉しさもちょっぴりになってしまふ、と感じた次第であるが、読者諸兄はいかがなものであろうか？





後ろの正面は誰だ？



4月1日(エイプリルフールだよ!)にソニーから「PalmTop」なるコンピューターが発売された。僕は銀座ソニービルで触れて大変衝撃を受けた。

端的に言って、これは日本製のマックである。そうっていい。昔からソニーがアップルのコンピューターを大量購入していた事実は知っていたけれど、こうした形態で見事に昇華した事実に脱帽。そして、これを発売した勇氣に拍手...である。

実はこの製品、マックユーザー以外では鼻もひっかけられないのだそうだ。これが仮に本当の話だとしたら、大変残念な事態であり、それは大げさに言えば「国民の認識のレベル」を疑わねばならないかも知れないからだが、それは以下の理由による。

僕はソニーというメーカーを、昔からハイブリットな製品を産み出すメーカー、と評価しているが、(それは各部門の製品創造に対する意欲が、柔軟性と協調性に富んでいる証拠だと思う)ではこのPalmTopがNEC製でもなく、富士通製でもなく、シャープ製でもなく、紛れもなくMADE BY SONYの製品である証しは一体何か?それはマック譲りのインターフェースだからではなく、そのサイズでもなく、ファジー採用の手書き入力(ちなみにこれを開発したのは、かの「エルゴソフト」だそう)でもない。それは、この製品が「ビデオウォークマン用のバッテリー

」を採用した事だと思う。これは将来のマーケティングを見据え、認め、信じなければ出来る事ではない。逆にこれがNEC製だったら、果してこうした統合化が可能だったかどうか?こうした動きは単にテクノロジーを基本として「出来る、出来ない」の問題ではないと考えるのだが。会社全体に理念がゆきわたっていないければ、とても困難を伴う事だと思う。更にはソニーは実際、そうした事が不可能に見えるほど「大きな会社」なのだ。だから僕



SONY PalmTop PTC-500

マーケティングの王道が、「未来を予測したニーズ」を基本とした製品作りにあるとの認識により、この製品(というか、ソニーというメーカー)の評価は一変する。更には「大安、仏滅」等を表示するカレンダー機能などは日本人だからこそ必要な機能だし、故に「この製品を海外に輸出する積もりは無いのですよ。これは貴方達外国人の人達には今のところ必要無いものですよ。」といった意志表示ともとれる。今の時代背景を着実に見据え、し

かも未来に夢を感じさせる実に見事なマーケティングが実は素晴らしいのだ、と言いたいのである。

90年代のマックライクな日本製のコンピューターの登場を考える時、ソニーというメーカーは「天国に一番近い島」にいるような、そんな気がしてならない。「PalmTop」というコンピューターの登場で一番考えねばならないのは正にその点だ。

最近では本当にマックが速く、安定して走る様になった。相乗的に時間がどんどん加速して、生活がどんどん忙しくなる。でも、それはあくまで仕事の上で大切な事。そうした日常から離れて、こうしてビールでも傾けながら、それでも手書きを拒否する怠惰な僕には、実はゆったりとつき合えるコンピューターが有難いなあ...と久々にオリジナルマッキントッシュでこの原稿を書いて、再認識してしまった。

「あの日に帰りたい」とは思わねど、いつでも帰ることの出来る手段があって、自分がいて、何となく幸せな気分。(ビールに酔ったからでは決してないよ)では、また。

P S : 今回から書き方を「口語調」に改めた。その方がよりフランクで「気まま」で良いでしょ?今後とも御つき合いの程を。宜しく。



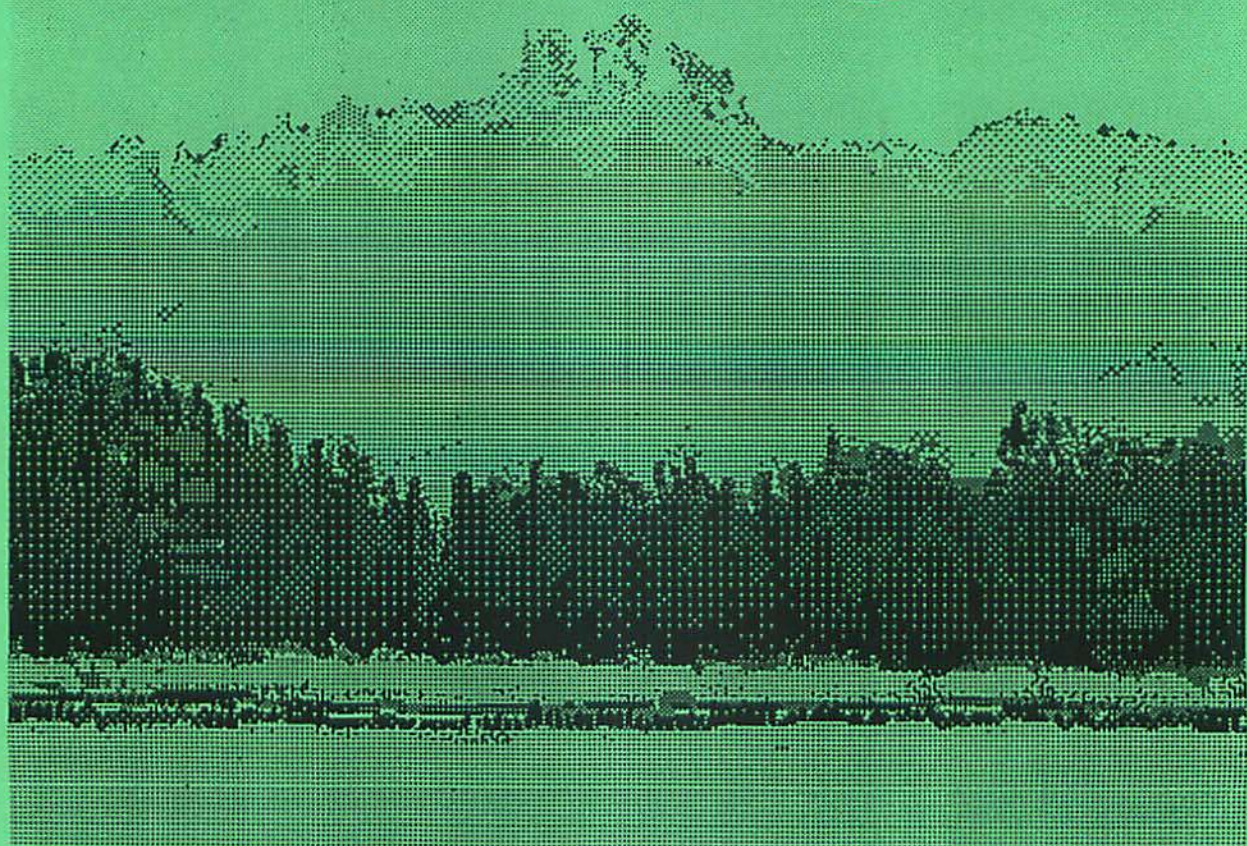


林檎ギャラリー

私の好きな場所
徳富亘

木々の息づくところに人は憩う
音は天空に溶け込み
静寂に夢を結ぶ

眼下に広がる花巻の田園風景と
杉の古木を摺り抜けてくる木洩れ陽は
Macと付き合って充血した目を癒してくれる
結Mac炎？いえ今夜は欠Mac鮫



新花巻駅付近からの胡四王山



IMF 林檎 1990.6.7

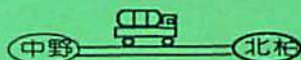
東京通信

By 荒木健次

「北柏から」

僕は三月の末、北柏に引っ越してきた。四歳になる息子と一歳になる娘、そして女房を連れ立って。

去年の春に愛すべき盛岡の人々と町に別れを告げて東京の中野に来た当初は、狭い空間と、環状7号と早稲田通りの交差する排気ガスが充満した環境に適応できず、四歳の聡と一歳の波はひっきりなしに医者に通い詰めだった。そして、一年間、というより半年以上悩んだ末、とうとうこの社宅を出ることに決めた。そして、今は中古ではあるが、郊外の千葉県にあるささやかなマンションに居を構えている。



ここに来て、全てが倍になった。居住スペースも二倍だし、周りの敷地の面積や緑の多さは比べようもないくらいだし、近くのスーパーの通路の幅も倍だ。そして、もうひとつ、僕の通勤時間も二倍になった。

ここに引っ越してきてから子どもたちの遊び方も大きく変わったようだ。東京にいる時、聡は家の中で絵を書いてばかりいたし、ブロック遊びに余念がなかった。



しかし、今は毎日、近くの友達と一日中、家の周りを走り回り、最近では「昆虫」に情熱を燃している。テントウムシ、イモムシ、チョウチョなどなど——虫かごと網を持って探検に夢中だ。波も道端の花を摘むのが日課のひとつとなった。

妻も子どもたちもとても喜んでいて。僕も通勤と借金の返済以外は喜んでいる。

この公団の団地には子どもを遊ばせ

ておくには十分なスペースと今は初夏に向かってみずみずしい木々の青葉が生い茂っている。「社会資本の充実」、そう、この言葉の意味がここに引っ越してみても少し分かったような気がする。



東京のサラリーマンは日本の貧困層になりつつある。盛岡にいた時は東京一極集中はよくないとか、東京は豊かで地方は貧しいなどという図式的な考えが幅をきかせていたように思う。

しかし、それは嘘である。なぜなら私は運よく(?)家を買えたものの、ほとんどのサラリーマンにとっては住宅事情は絶望的である。通勤に一時間半から二時間を要する場所でたいした広くもないマンションあるいは一戸建てが4000万円台後半から6000万円、せめてこの辺だったらなあ、と思うところは7000-9000万円の値段が平気についている。資産のない新規住宅購入者には法外な価格である。そして、「ただ残業」や通勤時間を含めると労働時間は長く、その労働環境は19世紀のイギリス工場労働者並みあるいはそれ以上だ。豊かなのは一部の個人と、法人という現代の「怪物」だけである。



私の盛岡の仲良しの友達はその辺の事情をよく知っていて、盛岡の町の快適さを楽しみ、東京を利用する賢さを持ち合わせていた人が多かったように思う。盛岡には古い町がもつ歴史的な厚みと昔からの自然が十二分にある。しかし、去年、盛岡市内に6000万円の高級マンションが出来たという話を聞いて腹立たしくなったのを記憶している。盛岡には東京の、しかも投機的な「社会資本」などいらなと思うのだ。



盛岡にいるときと今とでは生活が大きく変わったことだけは確かである。その変化の中にはもちろん、月一回のIMFの例会がなくなったことも入る。IMFは僕の盛岡時代の「豊かさ」を象徴しているし、今でもその豊かさの恩恵を受けながら、東京で仕事をし、生活している。マッキントッシュ、パソコン通信、新しいメディアと地域との出会い。仕事、趣味、人間、テクノロジー、ネットワーク、市民サークル——IMFには様々なキーワードがきらきらと輝いている。





余計なお世話 ...by 野村行憲

今回は趣を変えて、Macintosh one-liners という名前で、米国のネットにアップされた1行 Tips を紹介します。右は、ユーザ向けのを私が雅訳したものです。(一部割愛)

どうですか? 一行に集約された役立つ情報の数々。日本語のおかしいのは一重に私の英語力の不足によるもの。

しかし、英語で一行80文字だと、かなりの言葉が入るのですね。これを日本語で一行にするのはかなり苦しいものがあります。日本語の1文字が英語の2文字分に相当するものツライ。

ところで、One-Liners のウマイ日本語訳はありませんか? 笑のところ、これが一番悩みました。日経 MIX では、「一行野郎」と訳していましたが私の好みではありません。この路線で行くのなら「一行ちゃん」を推します。

米国からもらうだけでなく、皆で日本語版を充実させましょう!

参考までに、この書き込みの冒頭のメッセージを、BBS属性データと共に原文のまま転載します。

Macintosh One-Liners

DA起動時にブザーが鳴るのは多分DAハンドラの失敗。

DA起動時にブザーが鳴るのは多分メモリー不足。

Finderから開けないドキュメントはアプリから開いてみる。

アップルメニューが点滅するのは、「時計」の呼鈴。「時計」を見る。U字型のアイコンがメニューバー右隅に出るのは、Easy Accessが動作中。HyperCardのvisual effectが利かないのは3色以上が設定されているとき。用紙トレイを外してLaserWriterの電源を入れるとテスト印字を省略する。マウスボタンを押しながら電源を入れると装置内のFDを全て吐き出す。

FDは一体型Macの左側やスピーカーの近くに置いてはいけない。

ハードディスクを動作中に傾けたり移動してはいけない。

カーソルが大きな黒枠になっているのはClose View が動作している。

Multifinderの下でFinderでDesktopの再構築をするのは安全です。

Finderのメモリーサイズは最小限が設定されている。Get Infoで拡張可。

2つ以上のシステムフォルダをディスクに置くのはトラブルのもと。

Finderで開けるウィンドウの最大数はLAYOリソースの128で設定。

TeachTextファイルを読み出し専用にするにはFileTypeをTEXTからttroに。

一度に開けるファイル数はBoot block の書き換えて変更できる。

From: pepke@gw.scri.fsu.edu (Eric Pepke)
Newsgroups: comp.sys.mac.programmer,comp.sys.mac
Subject: Macintosh One-Liners
Message-ID: <612@fsu.scri.fsu.edu>
Date: 28 Mar 90 17:55:11 GMT
Sender: news@fsu.scri.fsu.edu
Organization: Florida State University, but I don't speak for them

Here is the latest version of the Macintosh One-Liners. It's now two pages long.

The Macintosh One-Liners are intended to condense onto a couple of sheets of paper information about some of the most common Macintosh problems and programming pitfalls. Each one-liner is a single line of text, shorter than 80 characters, which informs about one aspect of Macintosh use or programming.

The one-liners are brief and do not give complete information about their topics. This is intentional. Detailed documentation exists elsewhere, mostly in Inside Macintosh and in the Technical Notes. If you need more information than is provided in a one-liner, you should be able to determine it by a little experimentation or by looking it up using the words in the one-liner as hints.

One-liners give either facts or advice. The facts may be obvious to some people and obscure to others but are important for all. The advice is intended to help keep people from running into the most common nontrivial problems. Like proverbs, the advice may not be absolute and may sometimes be more conservative than is strictly necessary. However, I have found that a little constructive paranoia can go a long way toward avoiding problems, and more than once I have taken a precaution which seemed extreme at the time but which saved my skin later on.

The one-liners started as a list I made for myself of things to remember while writing programs. I have augmented them with my condensed records of several years of Info-Mac, Usenet, and Delphi digests and one year of Usenet reading. People who have contributed to the list since its first release are mentioned at the end. The result is very much a gestalt of the Macintosh lore I have seen and depends on the wisdom and efforts of many people. If I have forgotten to include your name, I apologize.

Send suggestions for additional one-liners to pepke@gw.scri.fsu.edu on the Internet or PEPKE@FSU on BITNET.

Have fun.

原文には It's now two pages long. とありますが、2ページ目はプログラマー向けの、かなり専門的なもので割愛しました。



IMF's 掲示板

本年度の例会日程をお知らせいたします。

7月5日 (木)

8月9日 (木)

9月6日 (木)

場所は南大通りの木津屋本店ショールームです。

皆さん奮って参加して下さい。

編集後記



今回から編集委員のアイコンを作りました。誰がどのページを担当したか一目瞭然となり、ますますプレッシャーが大きくなったと編集委員は大張り切りです。 徳富



何回やってもPageMakerの使い方がマスター出来なくて今回も又々苦勞の連続。当分楽しめそうです。 照井



自分の頭の中のイメージが表現できないのでいららします。レイアウト自体がマンネリ化してしまいます。これはもう、センスの問題でしょうか？ ガッカリ 高橋



どのページの写真もとても良くなり、レイアウトもますます素晴らしくなり、自分のページも次回からガンバラなくては！と反省しながら 佐藤



今回は会報完成の最終段階(コピーと製本)に参加できなくて残念です。いつも最終編集会議でドタバタし、今回こそ間に合わないのでは...と心配するのですが、不思議に間に合ってしまうのです。 野村



最近上海に凝っているののでこんなアイコンに成りました次回から編集に頑張ります。 杉村



今回の林檎は担当がないということになってホッとしたのもつかの間、これが終わると次が待っているというわけです。巡る巡る、糸車。そして何時かはこの世とさらば。 観念したふの字です。



今回の編集作業は、最近にしては時間がかかりました。なんととってもPageMaker3.0のいろんな制限によるところが多かったと思います。

皆さんも、新しいソフトを使用されるときは、十分ご注意を！ 熊谷



仕事の都合で編集作業にどうしてもでられませんでした。次は必ず。 佐々木



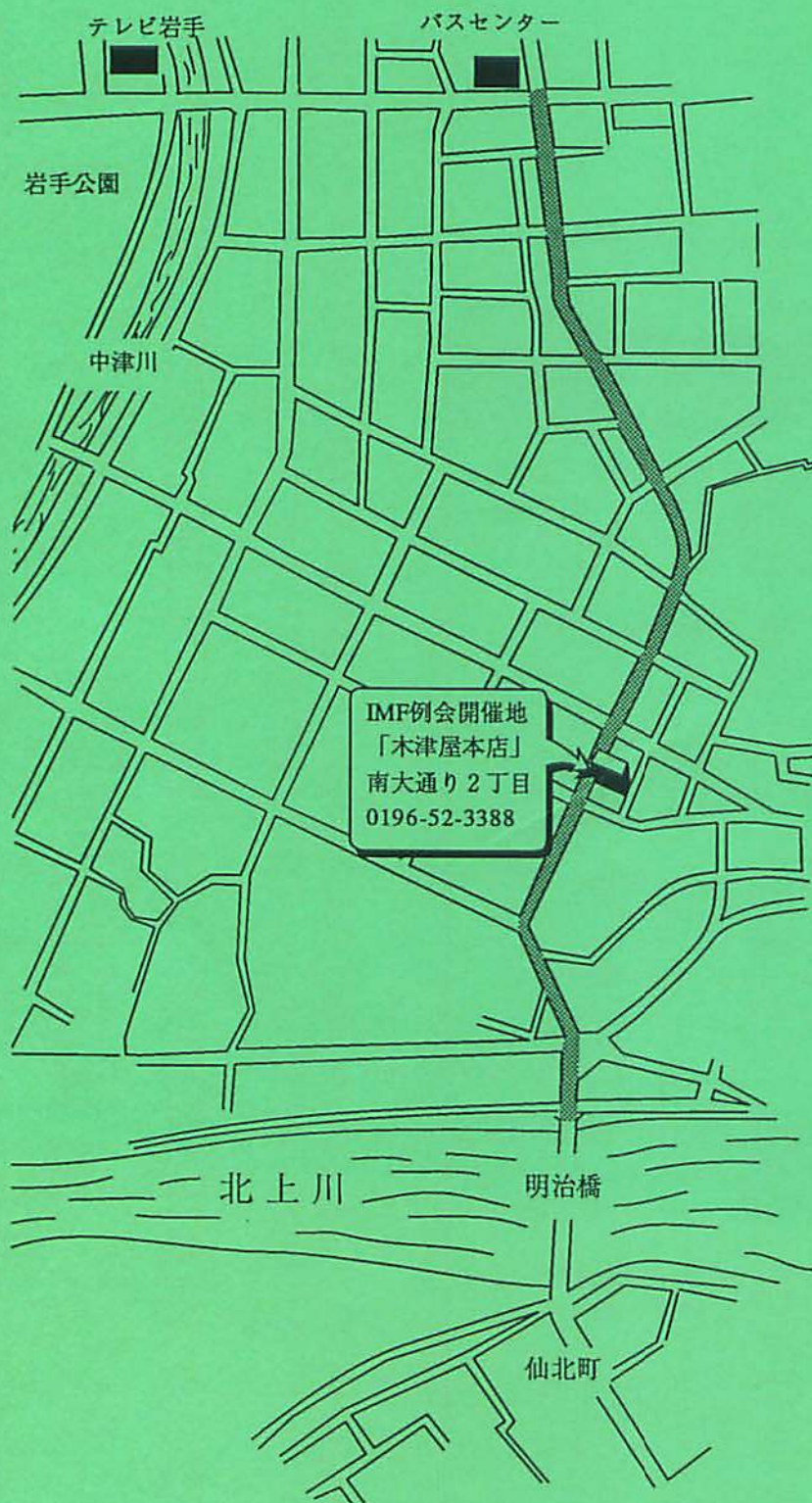
さすらいの副編集長、英語はお任せ、菅野さんです。



今回も浅田さんの話題で編集会議が盛り上がりました毎度ありがとうございます

会員名簿

Dick Harry	盛岡市	
Evelyn Harry	盛岡市	
Richard L Lammers	盛岡市	
浅田 昌徳	和賀町	90MAC035
浅沼 清智	花巻市	
浅野 忠治	花巻市	
荒木 健次	東京都	10ZZ0035
安保 淳一	盛岡市	
伊崎 誠一	盛岡市	
大河原 清	滝沢村	90MAC021
沖野 覚	二戸市	90MAC044
小沢 徹	盛岡市	90MAC029
桂川 茂彦	盛岡市	
兼平 信一	盛岡市	90MAC055
置沼 まゆみ	盛岡市	90MAC051
豊野 卓矢	盛岡市	90MAC006
工藤 道範	盛岡市	
熊谷 朋也	盛岡市	90MAC008
香城 孝慶	盛岡市	90MAC016
小松 寿夫	北上市	
斎藤 武	盛岡市	90MAC009
斎藤 怜	盛岡市	
佐々木 幸司	盛岡市	90MAC033
佐々木 俊光	胆沢町	
佐々木 文雄	紫波町	
佐藤 謙人	盛岡市	90MAC010
猿橋 浩昭	北上市	90MAC043
渋谷 誠	盛岡市	90MAC047
白石 隆	都南村	90MAC039
賢原 健蔵	盛岡市	
杉村 栄一	盛岡市	90MAC036
鈴木 是光	盛岡市	
鈴木 卓	軽米町	
瀧川 昌男	盛岡市	
蝦場 博和	盛岡市	
高橋 晃	盛岡市	90MAC031
高島 浩一郎	盛岡市	90MAC012
武元 伸次	盛岡市	
田中 康司	盛岡市	90MAC007
谷口 和美	盛岡市	90MAC056
谷藤 幸夫	盛岡市	90MAC040
照井 恒	盛岡市	90MAC054
照井 芳夫	花巻市	90MAC026
徳富 亘	花巻市	90MAC015
中居 賢司	盛岡市	90MAC011
中島 順	渡山市	90MAC003
西島 光茂	盛岡市	90MAC017
根本 聡彦	八戸市	90MAC042
野村 行憲	盛岡市	90NOMURA
日比野 利彦	都南村	90MAC052
平野 三千代	盛岡市	90MAC019
福田 健次	盛岡市	90MAC005
藤村 洋	盛岡市	90MAC028
本多 健一郎	盛岡市	90MAC025
米谷 剛美	盛岡市	90MAC037
前田 修悦	釜石市	90MAC059
真館 貞治	盛岡市	
松倉 拓次	都南村	90MAC032
三浦 一之	盛岡市	
三浦 利昭	浄法寺町	90MAC045
三浦 古義	盛岡市	
三田 光男	盛岡市	
村上 誠一	盛岡市	
村上 弘行	盛岡市	90MAC049
村川 寿	柏市	90MAC001
望月 善次	盛岡市	
本館 康司	花巻市	90MAC013
森 貞吉	盛岡市	
山田 真希	盛岡市	90MAC053
山本 淳	千歳町	90MAC034
吉田 新二	盛岡市	90MAC020
吉田 実	盛岡市	
吉村 弦	盛岡市	
和田 政男	矢巾町	



「林檎」9号は...

ASLTalk
 ByWord
 Color Magician
 Digital Darkroom
 EG-Bridge
 EG-Word
 Freehand
 Illustrator
 MacPaint
 MacVJE
 NinjaTerm
 PageMaker
 QuarkXPress
 SuperPaint
 Sweet JAM
 TurboJip
 TurboWriter

等で作ったものをPageMakerでまとめ、LaserWriter II NTX-Jでプリントしました。

1990/6/7 第9号
 発行 岩手Mac友の会
 代表 野村行憲
 盛岡市月が丘 1-1-36

非売品